

科目名		授業形態	担当教員名	
職業関連活動		講義	嘉納 綾・淡路 大致・中田 修・大谷 将之 小川 美幸・笹井 久嗣・角谷 哲生	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
この講義では、人にとって働くということにどのような意味があるかを知り、職業リハビリテーション概念、理論を学ぶ。また、就労支援者に必要な態度・価値観、就労支援に必要な基礎知識・技術等とともに関連制度やサービス等の社会資源について学び、その知識を用いて、身体障害、精神障害および発達障害に対する職業関連活動としての作業療法および作業療法士の役割について理解する。				
授業の到達目標				
1. 人にとって働くことにはどのような意味があるか、説明できる 2. 就労支援に必要な支援者が持つべき概念、価値観を説明できる 3. 就労支援における作業療法士の役割を説明できる 4. 就労支援で用いる検査法を列挙し、説明できる 5. 就労支援関連法規と制度を説明できる 6. 障害者就労支援における我が国の現状と課題を説明できる 7. 個別の疾患の特徴と就労支援の方法や課題を関連づけて説明できる				
授業計画				
回	内容			
1	職業関連活動とは 働くとは 求人票の見かた【嘉納】			
2	働く意味を考える【嘉納】			
3	「働く」について考える①【嘉納】			
4	「働く」について考える②【嘉納】			
5	職業リハビリテーションとは 障害者の就労について【嘉納】			
6	障害者の就労制度 就労支援技術【嘉納】			
7	職業評価の方法と実際【嘉納】			
8	障害別就労支援の実際：統合失調症【淡路】			
9	障害別就労支援の実際：うつ病【淡路】			
10	障害別就労支援の実際：高次脳機能障害【中田】			
11	障害別就労支援の実際：知的障害【笹井】			
12	就労支援における作業療法士の役割について【大谷】			
13	知的障害者の就労について（親の立場から）【小川】			
14	重度心身障害者の就労について（支援学校の立場から）【角谷】			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%	到達目標の達成度で評価する。		
レポート	30%	講義後の感想文で評価する。		
小テスト				
平常点	10%	授業への参加態度や出席状況で評価する。		
その他				
自由記載		再試験は筆記試験を100%として成績判定する。		
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
標準作業療法学 作業療法概論 第3版	二木淑子 他編	医学書院		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
特に指定しない				
自由記載				
備考				
授業予定は前後することがある。				